

Midorea-OV vol. 6

越前市

国内有数の有機産地を目指す

越前市では、水稲を中心に、大麦・ソバなど土地利用型農業が中心です。かねてから「コウノトリが舞う里づくり」を推進しており、減農薬、減化学肥料の環境調和型農業に取り組んできました。

なかでも、平成21年に農家有志で結成された「コウノトリ呼び戻す農法部会」は、多様な生き物を育む栽培法により当市の有機栽培を牽引してきました。また、当市では、有機JASも含めた、有機栽培面積約100haの先進的なメガファームが営農しており、全量マーケットインで受託生産し、販売先についても独自のルートを確保しています。

当市の有機農業は、主に当部会、当該農業経営体によって推進されており、その有機栽培面積を合計すると、市の耕地面積の約9%を占めます（2024年度時点）。

一方、有機農業従事者の高齢化による担い手不足が深刻化しており、持続可能な農業を実現するため、生産から流通、消費まで、一貫して有機農業を推進することが必要です。

オーガニックの取組を生産現場に留めることなく、農産物を加工する場や販売する流通現場、さらに食品の消費、廃棄まで、市全体で取組を進め、市内で完結、循環させることを目指し、令和6年5月に「オーガニック都市宣言」を行いました。

ACCESS

東京から
新幹線で約3時間
金沢から
車で約1時間



取組紹介

○新規取組者に対する技術指導
有機米の栽培面積拡大に向けて、先進的有機農業法人が有機農業の新規参入者に技術指導を行います。ながら、経験則であった栽培技術の言語化を進めます。

○有機栽培技術のスマート化
民間企業と連携し、収量や食味の向上、作業の省力化、また効率的な作業管理につながるためのスマート技術実証実験を継続実施し、安定した収量や作業の効率化を図ります。

○有機農産物の更なる高付加価値化
「コウノトリブランド」として有機農産物の6次化商品を開発、市内全小中学校の給食に「コウノトリ呼び戻す農法米」を提供、有機農産物の国内外における販路開拓、販売促進を行います。



先進有機農業法人による新規取組者への水稲に係る技術指導 →



← 有機農産物とともに自然豊かな当市の認知度を向上させるため、オーガニック見本市に出展。

株式会社 ファーム広瀬

コシヒカリ発祥の地・福井県。その中心にある越前市で2012年から有機農業を営んでいます。気候や水、土の恵みを活かし、農薬不使用・有機肥料によるお米を生産。約100haの圃場のほぼ全てが有機JAS認証を取得しています。土壌分析や浸水栽培など、精密な管理で育てた有機米を主力に、麦・ソバ・大豆や多様な有機野菜も高く評価されています。

○受託面積(令和7年12月時点):
1,006,115 m² 全て「有機農業」
内訳 ①有機JAS認証:945,426 m²
②県特別栽培認証1:60,689 m²



越前めん処 江戸屋

栽培期間中農薬・化学肥料不使用で育てられた市内の有機JAS認証ソバを100%使用した各種蕎麦メニュー。そば処越前の蕎麦に見られる特徴的な麺と名店ならではの風味に、絶品の出汁と良質な原料の奥深さが重なった蕎麦です。豊かな自然の恵みに確かな技が加わった蕎麦を、ぜひ越前市でご堪能ください。

営業時間 8:00~9:30、11:00~17:00
営業日 第2・4火、水、木、金、土、日曜 ※毎週月と第1・3火曜は休み
所在地 福井県越前市高瀬2丁目6-15

Youtube
「オーガニック都市越前市
コウノトリちゃんねる」



越前市の里地里山には豊かな生物多様性を育む自然が広がり、人と生きものが共に暮らす環境が受け継がれています。市街地でも環境負荷を抑えた暮らしを意識する市民が増え、まち全体でオーガニックな取組が広がっています。こうした市民の活動や市の魅力をより多くの方に届けるため、YouTubeで様々な動画を発信しています。

